

質 疑 (代表質問)

発言者 住 谷 篤 志

| 発 言 の 要 旨 (その1) |
|---|
| 1 政治姿勢について |
| (1) 地域コミュニティ協議会が発足して約20年が経過した現在、理想とする組織と現状の課題 |
| (2) シティープロモーション |
| ① TGC香川を開催しての所感と、今後効果を検証する考え |
| ② 今後どのようにロゴマークを活用していくのか。 |
| ③ 地域密着型トップスポーツチームと連携した、シティープロモーションを推進する考え |
| (3) 高松DAPPY |
| ① 高松DAPPYのこれまでの取組に対する受け止め |
| ② 高松DAPPYをさらに実効性の高い活動にする考え |
| ③ 組織横断的なプロジェクトに、積極的に参画する職員を評価する考え |
| (4) 地方創生の推進 |
| ① 第2期高松まちづくりプラン策定に向けた、市長の基本的な考え方 |
| ② 地方創生2.0の考え方を踏まえた取組を展開するなど、さらなる関係人口の創出・拡大に向けた考え |
| 2 行財政について |
| 令和6年度一般会計決算の見込みと、今後の行財政運営 |
| 3 まちづくりについて |
| (1) サンポートエリア |
| ① 県立アリーナのオープンや、徳島文理大学高松駅キャンパスの開校を受けた、サンポートエリアに対する現状認識 |
| ② サンポートエリアにおける今後の取組 |
| (2) サンポート高松と中央商店街の回遊性・滞在性向上に向けた今後の取組 |
| (3) 住宅政策 |

| 発 言 の 要 旨 (その2) | |
|-----------------|---|
| ① | 新たな部局を立ち上げた狙いや、どのような課題意識を持って今後の住宅行政に取り組もうとしているのか。 |
| ② | 今後のマンション政策を、本市としてどのように総合的に検討していくのか。 |
| ③ | 空き家対策の具体的な取組方針 |
| (4) | 公共交通 |
| ① | タクシー配車アプリの実証事業の成果 |
| ② | バタクスの水平展開を見据えて、タクシー配車アプリの普及促進に積極的に取り組む考え |
| ③ | 地理空間データ基盤をハブに、今後どのようなサービスを展開していくのか。 |
| (5) | 下水道使用料の改定に向けた取組状況と、今後のスケジュール |
| (6) | 安全・安心なまちづくり |
| | 高松空港が、特定利用空港の検討対象であることに対する本市の対応 |
| 4 | 防災について |
| (1) | 南海トラフ地震の新想定を踏まえ、本市の防災体制の取組を見直す考え |
| (2) | 地域コミュニティ継続計画策定に関する本市の支援策 |
| (3) | 大規模災害時における生存者の安否確認について、迅速な確認方法をどのように進めていくのか。 |
| 5 | 観光について |
| (1) | 瀬戸内国際芸術祭 |
| ① | 春会期の成果と、夏会期に向けた取組 |
| ② | 瀬戸内国際芸術祭の非開催期間にも、離島への誘客に取り組む考え |
| (2) | 香川県立アリーナ |
| ① | 県立アリーナの開館を受け、県と連携して、さらなるMICEの誘致に取り組む考え |
| ② | 県立アリーナで開催されるイベントの来場者を、市内観光や宿泊につなげる考え |

発 言 の 要 旨 (その3)

6 高松城天守再現について

- (1) 高松城天守再現に向けた作業の進捗状況
- (2) 天守再現の機運を醸成するための取組

7 産業振興について

ローカル・ゼブラ企業の育成や支援をしていく考え

8 農業振興について

- (1) 本市における稲作の振興についての考え
- (2) 担い手確保対策についての考え

9 福祉について

(1) 子育て支援

- ① 安心して子育てができる環境づくりを、さらに推進する考え
- ② ICTのさらなる活用に努める考え

(2) 在宅医療・介護連携

- ① 在宅医療支援センターを通して、在宅医療・介護連携をさらに推進する考え
- ② 地域包括支援センターの体制強化を図り、きめ細かな高齢者等の支援に取り組む考え

(3) 介護

- ① 超高齢社会における、介護支援専門員の不足の見込み
- ② 介護情報基盤を活用することで、介護現場の負担を軽減し、生産性の向上に取り組む考え

10 教育について

(1) 2期目を迎えた教育長が目指すビジョンと具体的施策

(2) 学校と地域の協働

- ① 地域学校協働活動における、これまでの成果と今後の取組
- ② より多くの保護者による、積極的な参画を促すため、PTAの自主的な取組に

発 言 の 要 旨 (その4)

ついて今後どのように支援していくのか。

(3) 今後も増加が続くと予想される、不登校児童生徒への支援

(4) 子供たちの未来を拓く教育について

① 放課後FACT-o-ryのこれまでの成果と、今後の展望

② 小学校における、非認知スキル向上に積極的に取り組む考え